

黒川 征一（くろかわ・せいいち）

旧池田町職員。自治労全国町村評議会議長などを歴任し、1999年退職。1999年4月の県議選で初当選。4期連続当選し、県監査委員などを務めた。2013年の市長選で初当選。池田町中西在住。



三好市長選挙 開票結果（最終）

当 7,962 黒川 征一（69歳 無所属 現職）
6,798 仁尾 健治（68歳 無所属 新人）

当日有権者数 23,937人（男 11,073人、女 12,864人）
投票者数 15,093人（男 6,995人、女 8,098人）
投票率 63.05%（男 63.17%、女 62.95%）



黒川市政

2期目が始動

任期満了に伴う三好市長選挙が、7月9日に投開票され、無所属で現職の黒川征一氏が再選を果たしました。投票率は63・05%（前回75・13%）。翌10日には当選証書が付与され、7月24日から2期目の任期がスタートしました。引き続き市政を担うことになった黒川市長に、2期目の決意と抱負を伺いました。

4年間を振り返って

14年間を振り返って、これまでの取り組みの成果をお聞かせください。

この4年間、第3子保育料の無料化や子どもの医療費助成を18歳まで拡大、2歳まで毎月5千円の育児用品購入補助、中学生のダルズ市への留学制度を導入するなど、子育て支援の充実に取り組みしてきました。

いりました。

また、国が進める地方創生では、「三好市生涯活躍のまちづくり計画」が四国で初めて国から認定され、この計画に基づき地方創生に向かって元気なまちづくりを進めていくことができるようになりました。

さらに、今年10月のラフティング世界選手権の開催とともに、来年はウェイクボードの

世界選手権の開催も決まり、どちらも日本初開催であり、ウォータースポーツのまちとして三好市を売り出し、今後大きく成長する機会を得たと思っています。
こうした4年間でまいいた三好市の元気をつくる種を大きく育てていきたいと考えています。

2期目の抱負と決意

1市長が目指すまちづくりの方向性や取り組みを教えてください。

まずは、ラフティングとウェイクボードの世界選手権を今年と来年連続して開催することによって、国内はもとより世界に「ウォータースポーツのまち三好市」を発信していきます。それによってさらに交流人口を増やすことができず、外国人観光客のさらなる誘客を促進することができず。そして、ウォータースポーツのまちづくりを進めることによって若者が集うまちづくりができます。ま

た、子どもたちが水と親しみ自然の中で生活することによって地域愛の醸成、そんな土壌をつくり上げていきたいと考えています。
もう一つは地方創生。しっかり取り組むことによって、都会から高齢者や若者も含めて移住交流事業のさらなる推進を図り、地方創生で元気なまちづくりを進めていきます。

さらに、子育て環境の充実として「子育てするなら三好市」、子育てしやすいまちづくりに取り組みしていきます。自然豊かな三好市で子育てをしていただいて、元気で逞しい子どもたちを育むことにより、移住人口を増やしていきたいと考えています。
また、今後、学校給食費の無料化を進めるとともに高齢者が安心して暮らすことができるまちづくりに取り組んでまいります。中でも高齢者の買い物支援や病院などへの通院支援の充実など高齢者の移動支援を検討し、安全安心で定住のまち三好を推進していきます。

市民の皆さまへメッセージ

1市民の皆さまへ、メッセージをお願いします。

市民の誰もがここに生まれてよかった、住んでよかった、住み続けたい三好市、そして多くの皆さま方が訪れてよかったと思えるような三好市をしっかりとつくっていきます。また、安全安心のまちづくりをさらに進めるとともに、都会にないもの、自然豊かな水と緑がきれいな三好市、自分たちには誇れるものがあるという郷土愛が持てるような、三好市まるごと観光地のまちづくりを市民の皆さまと共につくっていきたくと考えています。

市政を進めていくために、市民の暮らしに寄り添い皆さまの声を傾聴し、まちづくりを進めてまいりますので、今後とも多大なるご支援、ご協力、叱咤激励を賜われますようお願い申し上げます。

黒川 征一